

神森—仲西 後半、豪快なジャンプシュートを決める神森の翁長鈴③  
—1日、県総合運動公園体育館（又吉康秀撮影）



# 神森薄氷3連覇

## 男子・浦添 20年ぶり頂点

### 県中学春季ハンドボール

ハンドボールの第39回県中学校春季選手権大会最終日は

1日、県総合運動公園体育館で決勝などを行い、男子は浦添が美東を40-30で破り20年ぶりの5度目の頂点に立った。女子は神森が18-17で仲西に競り勝ち3年連続7度目の栄冠に輝いた。

## 強気で流れ引き戻し逆転 神森

試合序盤に流れをつかんだのは仲西だった。速いボール回しで神森守備陣を散らし、生まれたスペースを両サイドから突いて得点していった。守りも堅く、神森に自由な攻撃を許さなかった。前半を終えて10-8と仲西がリードした。流れを変えたい神森は、高良怜未主将を中心に気持ちの切り替えを図る。「相手に気持ちで押されていたので、強気でいこうと話合った」。前半、厳しいマークを受けて思うように得点できないでいたエース翁長鈴。「この大会はずっと調子が悪くて迷惑を掛けていた。『また迷惑を掛けるかもしれない』と話したらみんなが励ましてくれた。チームメートの温かい声で『やってきたことを全力でやろう』と吹っ切れた。攻守で及び腰だった神森が後半は生まれ変わった。激しい守備で相手のパスミスなどを誘い、速さのある上門真子らが速攻を決めると、エース翁長が1点の欲しい勝負どころで難しい体勢からシュートを決めて、試合の主導権を奪った。最後はGK新垣麗奈を中心に、全員守備で1点リードを守りきった。翁長は「皆に助けられてばかり。次は自分が周りを引っ張る」と優勝にも浮かれることなく気を引き締め、高良主将も「もっと強い気持ちで戦わない」と県中学総体に向けて、課題を口にした。

（普久原裕南）

## 攻撃力爆発 前半で圧倒

### 「全国制覇」狙う浦添

男子は浦添が攻撃力爆発した。決勝で15得点のエース下地利輝を中心に、迫力あ

浦添	40	18	12	30	美東	18	8	10	7	17	仲西	18	8	10	7	17	仲西
具志川	33	18	15	16	12	28	仲西	23	11	12	8	20	美東	11	12	8	20



浦添—美東 素早いステップで相手守備をかわし、ジャンプシュートを決める浦添の下地利輝⑩

た。早い展開からの速攻や、相手守備陣を崩す巧みなパスワークからの攻撃など、高い決定力で次々に得点を重ねた。頼りがいのある攻撃陣がつくった大きなリードは、主将のGK宮國央芽が盤石のセービングでしっかり守った。快勝にも下地は「攻撃陣の縦に突破する意識が足りない」、宮國主将は「空いたスペースへの守備がまだまだ」と、それぞれがチームの目標である全国制覇を見据えて、すぐに取り組むべき課題を挙げていた。